

10月 運動会ホットニュース

2023年 10月 18日

『運動あそび参観日』に多くの皆様がおいでくださり、ありがとうございました。思いのほか暑くなった中、あたたかいご声援が子どもたちの笑顔をより輝かせてくれました。「遊びが子どもたちのアイデアだけで創られていって、すごいですね。」と、嬉しい感想を保護者の皆さんからいただきました。ただ、“それだけじゃないんですよ”と、普段の先生たちの営みを見ている者としては・・・お伝えしたい！

月組で子どもたちが「恐竜島だぁ！」と盛り上がり始めた翌週。遊戯室が賑やかなので覗いてみると、白くて長いロール紙に緑色や朱色などの水性えのぐを塗りたいくっている子どもたちの歓声でした。ローラーで端から端まで渡り歩く子、ぺたぺたと手形をつける子など、みんな熱中していました。



紙のほぼ全面に色がついたところで、乾かすためにテラスの洗濯紐に吊るしました。それら3本の模様様の帯をながめている子どもたちの表情は、満足感に溢れていました。

さて、遊びの振り返りの時間。「今日一番楽しかったのは・・・」もちろん‘あれ’に話題が集中しました。その中に、「あの色、恐竜の色じゃない?」、「あれを段ボールに貼ったら、大きな恐竜が作れるんじゃない?」という弾んだ声。その瞬間、担任教諭の心の内に「キタぁー！！」と、満塁ホームランを打ったような喜びが。

実は、担任教諭たちは毎週末、翌週の【週日案】というものを作成して帰宅します。それには、その週の子どもの様子や遊びのことが記され、それを踏まえて翌週の遊びを予測し、その想定に沿って必要なものを準備します。時に職員全員で片づけた移動させたり、手分けして全員分の小物を作ったりします。それでも、せっかく準備したものに子どもたちが興味を示さないことも度々あります。‘空振り’に終わるたびに「どうしてかなぁ」と反省しますが、子どもたちに無理強いはいしないのです。

だから、「キタぁー！！」だったのです。担任の思惑と子どもたちの“やってみよう”がぴったり合致したのですから。当日、園庭で展開されたサーキットのそこそこ



にあった、子どもたちが塗った恐竜カラーにお気づきになりました?

そして、何よりも大切なことは、子どもたちが“自分たちの知恵と力でやれたんだ”って、自信と自己肯定感を持ってくれることなのです。

幼稚園教諭の汗と涙の物語でした。

運動あそび参観日

